

プラント状況確認結果(平成26年10月28日～11月4日)

平成26年 11月 4日
福島県原子力安全対策課

- 平成26年10月28日～11月4日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ 1号機において、使用済燃料取り出しに向けたガレキ撤去作業を進めるため、平成26年10月22日7時08分から原子炉建屋カバーの解体に向けた作業を開始しました。詳細はこちらをご覧ください。

(1) プラント状況 (11月4日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	4.4	4.4	4.3	—
		压力容器 下部温度(°C)	25.3	32.1	30.5	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 ^{※3} (Bq/cm ³) (A系)	1.53×10 ⁻³	検出限界未満	検出限界未満	—
压力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系) (体積%)	0.03	0.06	0.07	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	22.0	20.4	18.2	17.4

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧下さい。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm³以下である。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果 (11月4日午前10時)

最小 1.325 (MP-6) ～ 最大 4.065 (MP-3) マイクロシーベルト/時 ⇒ [計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果 (11月3日採取分)

最小 検出限界未満(物揚場前、6号機取水口前) ～ 最大 64(1～4号機取水口内南側(遮水壁前))
Bq/ℓ

(4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果 (11月3日採取分)

5,6号機放水口北側に30m : 検出限界未満 ※検出限界値は0.70 Bq/ℓ
1～4号機放水口から南側に1.3km : 1.3 Bq/ℓ

(5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果 (11月3日採取分)

西門 : 検出限界未満 ※検出限界値は約1×10⁻⁷ Bq/cm³

(6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果 (11月3日採取分)

最小 検出限界未満(4号機) ～ 最大 0.18(2号機) Bq/cm³

(問い合わせ 024-521-1917)